

高田のたから



八代市立高田小学校

校長 村本 恭子

「夢の実現に向けて、主体的に学び続ける子供の育成」 ～人・物・時を大切に～

Ⅰ 学期大変お世話になりました

7月17日はⅠ学期の終業式です。Ⅰ学期は地域、保護者の皆様に大変お世話になりました。高田小学校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございました。夏休みは学校から離れ、家庭、地域で過ごすことになります。ご家庭のルール等子供さんとしっかり話し合っていたいただき、事故、事件に巻き込まれないよう過ごさせていただければと思います。

2 学期の始業式 8 月28日、元気な子供たちに会えることを楽しみにしています。

全校集会～子供たちに考えてほしいこと～

7月の全校集会で子供たちに次の話をしました。

この前、高田小学校のあるクラスでこんなアンケートをとりました。

「あなたはいじめをよいことだとおもいますか」0人

「あなたはいじめをしようとおもいますか」0人

「あなたはいじめられたことがありますか」23人

あなたは いじめを
よいことだと思いませんか？



0人

不思議ですね。いじめはよいことだと思っている人も、いじめをしようと思っている人も0人なのに、「いじめられたことがある」と答えた人が23人いるのはなぜでしょう。

いじめってどんなことかという「悪口」「たたく、蹴るなど暴力」「いじわるな言葉の暴力」「チクチク言葉」もっと具体的にいうと遊ぶふりをして「たたいたりけったりすること」「死ね」「きもい」などの悪口。失敗した人を笑ったりからかったりすること。「ねえねえ〇〇ちゃんと遊ぶのやめよう」とか、その人が来たら急に話をやめて逃げる、ひとりぼっちにする、無視や仲間外しをすること。人のノートや机に落書きするなどのいやがらせ。こんな行為はされた人の心に大きな傷跡を残すのです。自分はやっていないけど見てただけ。これもいじめなのです。いじめを受けた心の傷は 10 年も 20 年も消えることはありません。だからいじめは絶対にしてはいけません。以前、校長先生が担任をしていた頃、いじめをしている人を叱ったことがあります。そのとき叱られた人は「ふざけてやっていて、相手がそんなにいやだと思わなかった。いじめと思わなかった。」とか「この人がちゃんとしなから、たたいたり、蹴ったりした。」と言うのです。どんな理由があってもいじめはいけません。相手に注意するのであれば「言葉」でそのことを分かるように伝えなければいけません。

高田小学校の子供たちは優しい子供たちが多いなあと校長先生は思っています。でも友達のことを傷つけてもなんとも思わない人がいるのかなと悲しくなることもあります。

もう一度、自分の行動を振り返ってください。あなたはお友達の心や体を傷つけていませんか。あなたの周りに傷ついている友達がいるのに知らん顔をしていませんか。

今日の校長先生の話は一人一人にお話ししていることとして考えてください。

どこか遠いところで起きているお話ではありません。いじめは絶対許されることではないということ。

人の気持ちを考えることのできる人になってください。高田小学校の子供たちならきっとできると思います。

高田小学校の子供たちがにこにこ笑顔で過ごせることを、願っていますし、一生懸命応援します。

子供たちの心に届くことを願いながら話しました。